

日蓮大聖人御書全集

むしろさんまいごしよ

莚三枚御書

新版
2051

むしろさんまいごしよ

薙三枚御書

弘安 5 年 ('82) 3 月 61 歳
こうあん ねん がつ さい

むしろさんまい なまわかめひとこ た お

薙三枚・生和布一籠、給び了わんぬ。

さんがつついたち よつか

そもそも三月一日より四日にいたるまでの御あそびに

こころ 慰 瘦 病 治 トラ捕 覚

心なぐさみて、やせやまいもなおり、虎とるばかりおぼえ

そうろううえ おん 和 布 た しし 乗 覚 そうろう

候上、この御わかめ給びて、師子にのりぬべくおぼえ候。

たから 所 ひと 変 そうろう

さては、財はところにより人によつてかわりて候。こ

みのぶさん いし おお もちい 苔 おお 打

の身延山には石は多けれども餅なし。こけは多けれどもう

敷 ものそうら き かわ 剥 敷 もの 筵

ちしく物候わず。木の皮をはいでしき物とす。むしろ、い

たから

かでか財とならざるべき。

おくに こじ

もう

ちようじや

あし 裏

毛

生

そうら

億耳居士と申せし長者は、足のうらにけのおいて候い

もの

歩

所

家

うち

もう

し者なり。ありきのところ、いえの内は申すにおよばず、

綿

よんすん 敷

踏

ひと

わたを四寸しきてふみし人なり。これはいかなることぞと

もう

せんぜ

尊

そう

熊

皮

敷

故

申せば、先世にとうとき僧にくまのかわをしかせしゆえと

見

そうろう

みえて候。

況

にほんこく

がっし

じゆうまん 余 里

隔

そうろう

いおうや、日本国は、月氏より十万よりをへだてて候

へんごく

うえ

夷

しま

いんが

理

わきま

うえ

辺国なる上、えびすの島、因果のことわりも弁えまじき上、

まつぼう

そうら

ぶっぼう

しん

謗

くに

末法になり候いぬ。仏法をば、信ずるようにてそしる国な

り。ほけきよう おん 故 な 立 たも うえ おんしかるに、法華經の御ゆえに名をたたせ給う上、御

筵

ほけきよう

進

たま

そうら

むしろを法華經にまいらせ給い候いぬれば。